



セカンドハーベスト名古屋

SECOND HARVEST NAGOYA PRESS

2018.12.31

NO.11

発行元 認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋

〒462-0831 愛知県名古屋市中区城東町七丁目148番地

TEL:052-913-6280 FAX:052-913-6281

E-mail:info@2h-nagoya.org URL:https://www.2h-nagoya.org/

編集/印刷 橋本写植



2019年NPO法人化10周年を迎えます

私たちセカンドハーベスト名古屋（以下、2HN）は、2008年に日本初のフードバンク団体が紹介されたTV番組を見た有志により活動を開始し、翌2009年にNPO法人化しました。当時、リーマンショックの影響により、日本人外国人問わず生活に困窮する方が多くいらっしゃいました。一方、名古屋では私たちが活動を開始するずっと以前より、炊き出しを行っている市民団体や教会が数多くありました。そこで、2HNではこうした炊き出しを行う団体へ食品を提供する活動から開始しました。その後は、障がい者関連施設や児童養護施設、母子生活支援施設などの福祉施設へも提供先を広げ、最近では子ども食堂など地域で

多様な活動をしている施設・団体も増えています。

さらに、2015年からは行政との連携により福祉施設・団体のみならず個人への支援を始めました。現在では自治体が設置した相談窓口との連携率が9割以上まで進みました。

10年も活動を続けることができたのは、私たちを応援してくださる皆様のおかげです。今後も「食のセーフティネット構築」に向けて活動を進めてまいります。引き続き温かいご支援をよろしくお願いいたします。

CONTENTS

2018年度実績報告	…p.1~2	パートナー団体紹介	…p.3
ボランティアインタビュー	……………		p.4

2018年度の概況

※2018年度実績は1～11月までの実績に基づく推計値



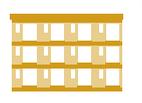
食品の寄付

年間約 **450** トン

2018年度は、約450トンの食品を法人・個人のみならずから寄付いただきました(2017年度:453トン)。東海3生協(コープあいち・コープぎふ・コープみえ)様からは、これまでいただいていた常温・冷蔵・冷凍食品に加えて新たに青果物の寄付が始まりました。中でもバナナは栄養価が高く手軽に食べられる食品としてとても人気です。



青果物は農産セットセンターから2HN近隣の生協店舗まで運んでいただくことで、食品引き取りの負荷が軽減されています。



団体支援事業

約 **220** 団体

ホームレス支援団体や障がい者関連施設、児童養護施設などの福祉的な活動をしている約220の施設・団体へ食品を提供しました。それらの団体で食品を活用いただくことで、食事の質的向上や食費の削減に寄与しています。近年、急激に数が増えつつある「子ども食堂」は、主に愛知県内の20以上の団体へ食品を提供しています。



個人支援事業

年間約 **4,900** 件

行政が設置した生活に困った方の相談窓口と連携し個人の方へ延べ約4,900件の食品の詰め合わせをお送りしました。

さらに社会的に養育・保護が必要な子どもたちのための公的な施設(社会的養護の施設)との連携も始まりました。具体的には、児童養護

施設や自立援助ホーム、母子生活支援施設などを卒所した子ども達や母子世帯を支援しています。施設を出た直後は、自立を求められ経済的・精神的に苦しい状況になりがちです。そこで、2HNが毎月食品を届け、連携する施設職員が暮らしの状況や困りごとなどの聞き取りを行うことで、食費の削減や気持ちの安定などにつながります。



食品を受け取った方からの手紙が毎日事務所に届きます。「たくさんの食品が届き驚いた」「気持ちが嬉しかった」など、温かい言葉に私たちも励まされています。



個人のお金寄付者

前年比約 **1.6** 倍

事務所移転の影響もあり昨年の約1.6倍もの方にお金の寄付をいただきました。おかげさまで広い事務所への移転を無事に終えることができました。また、食品は約600名から約20トン寄付いただき、もったいない食品を有効に活かすことができました。



事務所が広くなり玄米保管専用の冷蔵庫を新設しました。2HNでは年間約20トンの米を利用しており、以前より多くの玄米を保管できるようになりました。

特集

再非行防止
サポートセンター愛知

近年、少年犯罪者数は減少傾向ですが、再犯者率は19年連続で上昇を続けています(平成29年版犯罪白書)。これは本人の問題だけでなく、学校生活への不適応、家族との関係、貧困など様々な問題が絡み合っています。今回紹介するNPO 法人再非行防止サポートセンター愛知では、罪を犯した少年・少女の生き直しのサポートを行っています。逮捕時及び少年院在院中=「入口」から、社会復帰後の再非行防止と就学・就労・日常生活などの支援=「出口」までのサポートを行います。

活動内容について代表の高坂朝人さんに伺いました。



「少年院退院後に帰る家がない、更生のため地元を離れた方がよい場合などには、団体が運営する住まいで生活をします。少年院在院中の子や親元に暮らしている子たちも含めて、現在約40

名のサポートを行っています。」

彼らのサポートをするにあたって、大事にしていることは何でしょうか。

「非行少年・少女の『本音』と『希望』を引き出すことを大事にしています。自分で決めたことであれば失敗をしても学びになります。納得感がないと再非行に近づく恐れが高まります。すべて彼らの思う通りにはなりません。できるだけ意志を尊重するようにしています。」

また現在の法制度の中では、一貫して生き直しをサポートできる大人がいません。警察官、少年院の先生、裁判官、

保護司など誰もが更生を望んでいますが、その時々で関係が切れてしまうのです。私たちは、関わる



時間や方法は状況によって変化しますが、長く一貫してサポートすることを目指しています。」

こうした想いの背景には高坂さんの実体験が関係していました。

「私は13歳頃から非行を行い、警察に15回逮捕された経験があります。信頼していたのは、都度過ぎ去っていく大人ではなく、非行仲間たちでした。しかし、23歳で妻の妊娠をきっかけに本気で生き直そうとした時、人生で初めて大人に助けを求めたのは18歳の時に知り合った弁護士の方でした。多くの大人に出会いましたが、その方のみが手紙や電話などで継続的に連絡をいただいたんです。非行少年・少女はもっともらしい正しい言葉を聞きたいのではなく、信頼できる人の言葉を聴きたいのです。」

2HNの食品は運営する施設で提供する食事に利用いただいています。高坂さんの奥様が、受け取った食品の中から若者に喜ばれるようなメニューを考え調理されています。

「夕食は弁当に詰めて各人の部屋に持っていきます。その際に仕事や体調のことなど話をしますが、コミュニケーションのきっかけになっていますね。また、食費としての予算もありますが、食べ盛りの少年・少女たちにお腹いっぱいになってもらい、また彼らの負担を減らすのに2HNの食品が役立っています。」

バランスのよいボリュームたっぷりの美味しい食事が、生き直しの大きな力になっています。



団体概要

NPO法人再非行防止サポートセンター愛知
Mail : saihkouboushi_aichi@yahoo.co.jp
HP : <https://saihkouboushi-aichi.jimdo.com/>
お子さんが「逮捕された」「少年院に入った」という場合には、すぐにご連絡ください。正会員、賛助会員募集中です!

ボランティア インタビュー



私たちの活動は20~80代のボランティア約50名によって支えられています。今回は市内の中学校で教員をされているボランティアの神谷さんにインタビューしました。

Q:フードバンクを最初に知ったきっかけは何ですか？



仕事(授業)で食品ロスを取り上げたのがきっかけです。授業のため他の先生方と一緒に食に関するイベントへ調査に出かけた際、2HNの活動が紹介されたチラシを受け取りました。見た瞬間「あっ私がやりたいこ

とは、コレだ!」とピンとききました。

Q:実際に活動に参加し始めたきっかけを教えてください

もっと知りたくなり、現場に行かなければ分からないことがあると思ったので、すぐ「休日の活動※」に参加してみました。来てみると魅力的なボランティアに出会えました。普段はお金に困った人からの相談を受ける仕事をしているのに休日にわざわざ2HNでボランティア活動する人や、炊き出しや子ども支援など様々なボランティア活動を渡り歩いた上で結局2HNにいる人など。また、2HNがボランティアの意見を聞き活動に反映させる仕組みを取り入れており、人と組織が良いと思ったからです。とは言え今は、ここに来る

ことが楽しくて続けています。

※休日の活動とは、2HNが主催する土日に社会人や学生を対象に行っている広報イベント。

Q:この団体では普段どんな活動をしていますか？



平日は仕事があるため参加できないので、土日に開催する「休日の活動」のお手伝いとして、参加者への説明やフォローなどを行っています。また、夏休みや冬休みの長期休暇の際には、有給休暇

を取って平日の活動にも参加しています。生活に困っている個人へ届ける食品の詰合せをつくったり、食品を引き取りに行ったりしています。

Q:活動の魅力は何ですか？

私は教員として「ヒトとモノを大切にしたい」という想いを強くもっています。だからこそ、ここに来ると食べ物も人も大切にできることに魅力を感じます。

また、これまでの人生では出会えなかったボランティアの方達と話すことや、普段の生活ではできない体験ができるのが楽しいです。この楽しさが喜びです。ここでの活動のおかげで、心にエネルギーをもらえると感じています。これからも、活動がんばります!!

フードバンク活動へ寄付のお願い

寄付いただいた食品を必要とする人へ届けるためには、倉庫代や配送費などの費用が必要です。私たちセカンドハーベスト名古屋の活動は、食品だけではなく活動資金も企業・個人からの寄付により成り立っています。皆様のあたたかいご支援よろしくお願い致します。いただきました寄付金は、生活に困っている個人や福祉団体へ食品を届けるために使わせていただきます。

銀行
振込

三菱UFJ銀行 栄町支店
普通口座 0015287
特定非営利活動法人
セカンドハーベスト名古屋

クレジットカードによる
継続的な寄付も可能です

セカンドハーベスト名古屋 寄付

